



普及センター もりおか



インターネットでオールカラーの記事が読めるよ!

いわてアグリベンチャーネット 普及センターもりおか

検索

第136号平成25年9月25日発行
盛岡農業改良普及センター
盛岡市内丸11-1 盛岡地区合同庁舎
TEL 019-629-6730 FAX 019-629-6739

大反響につき! 若ぞう市 追加開催! なんと!! フラワーアレンジメント講座も!!

盛岡地方農業青年連絡協議会(通称:盛岡地方連)主催の農産物直売会「若ぞう市」をなんと!今年度は11月まで開催することとなりました!クラブ員が丹誠込めて栽培したお米・野菜・果物・花など、新鮮な農産物を販売します!皆様ぜひお越しくださいませ!

開催期日 **10月5日(土)**
11月2日(土)
11月16日(土)

場所 **サンフレッシュ都南**
(野外テントにて)
(盛岡市下飯岡 21-180)

販売時間 **8:30~17:00**
(無くなり次第終了)

10月5日(土)の若ぞう市では、生花店勤務経験のあるイケメン(!?)農業青年が講師となり、

「フラワーアレンジメント講座」

を開催いたします!

岩手県が全国一の生産量を誇る「りんどう」をメインに、盛岡地方の花をふんだんに使ったアレンジを初心者にも優しくレクチャーいたします!

※フラワーアレンジメント講座への参加は事前申し込みが必要です。

(定員になり次第募集終了)

詳しくは、盛岡農業改良普及センター農業青年担当までお問い合わせ

ください!



「技術実証って、つまりはどんなことをするの？」

前は「小ぎく半身萎凋病の発生軽減対策（クロルピクリン錠剤による土壌消毒効果）の実証」について紹介しました。

今回は「トマトでのかいよう病の発病低減（キルパー等）の検討」について紹介します！



背景



目的

トマトでは、**かいよう病**が発生が増えています。

⇒発病すると、圃場全体に蔓延し、
早期に枯れ上がる**恐ろしい病害です！**

- ・この病害は土壌中に残った植物残さ等から感染します。
- ・芽(葉)かきや誘引等の管理作業により生じた傷口から感染によって拡大します。



かいよう病の感染を抑制するため、土壌消毒や管理作業（誘引方法）について実証します。

実証する技術はこの2種類

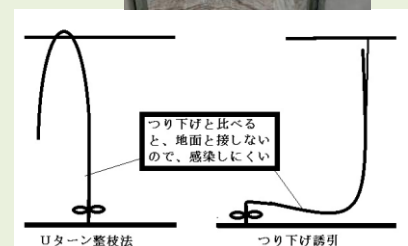
①土壌消毒（商品名：キルパー）の検討

作付前に、畦（マルチ）内や通路を消毒することで土壌からの感染を抑制します。



②誘引方法（Uターン栽培）の検討

従来の誘引方法（つり下げ）と比べると、Uターン整枝法は地面から直立させる方法なので、芽(葉)かき等で生じる傷口が病原菌が存在する土壌から離れます。このため、感染リスクの低減が期待できます。



※その他

かいよう病は汁液感染し、高温条件で拡大するため、①農業資材やハサミ、手袋等の消毒、②施設内の換気徹底、③高温対策、等の防除対策が必要です。

秋の農作業安全月間が始まりました！

「慣れと油断が事故のもと いつもの作業もまず確認！」
…秋の農繁期は、農業機械による作業が増えるとともに、日没が早まることで農作業事故の危険性が高くなる時期です。
ゆとりある計画的な作業を心がけ、家族みんな、笑顔でおいしく新米をいただけるようにしましょう。

